

子ども家庭支援センター相談件数の推移

地域の身近な相談機関として、子どもと家庭からの総合的な相談に応じて支援を行っています。

1 相談種類別件数

(単位：件)

区分 年度	養護相談		保健相談		障害相談		非行相談		育成相談		その他の相談		計		
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	合計
3年度	224	15,248	1	46	1	25	0	3	9	353	0	5	235	15,680	15,915
2年度	230	13,479	0	1	0	6	1	10	19	735	0	0	250	14,231	14,481
元年度	210	12,608	0	25	1	15	0	0	20	716	0	4	231	13,368	13,599
30年度	174	11,306	2	46	0	133	0	0	24	1,076	1	11	201	12,572	12,773
29年度	156	11,205	0	111	1	373	0	2	16	760	1	28	174	12,479	12,653

※ 新規：新たに受理した相談件数の実数

※ 継続：新規相談後継続して支援を行った行動実績件数

※ 養護相談：児童虐待（身体的虐待・ネグレクト（養育の放棄又は怠慢）・心理的虐待・性的虐待）、養育困難、保護者の家出・失踪・入院・死亡等についての相談

※ 保健相談：未熟児、虚弱児、その他の疾患（精神疾患を含む。）についての相談

※ 障害相談：肢体不自由、視聴覚、言語発達、重症心身障害、知的障害、自閉症等についての相談

※ 非行相談：ぐ犯（虚言癖、浪費癖、家出、乱暴、性的逸脱等）及び触法行為についての相談

※ 育成相談：性格行動（反抗、友達と遊べない、落ち着きがない、かん黙、不活発、家庭内暴力）不登校、適性（進学適性、職業適性、学業不振）、育児・しつけ等についての相談

2 相談方法別件数

(単位：件)

区分 年度	電話	面接	手紙	訪問	電話・文書照会	計
令和3年度	12,381	831	0	2,703	0	15,915
令和2年度	11,598	536	0	2,347	0	14,481
令和元年度	10,453	545	0	2,601	0	13,599
平成30年度	9,672	686	0	2,415	0	12,773
平成29年度	9,551	706	0	2,394	0	12,653

3 児童虐待相談件数内訳

ア 内容別件数

(単位：件)

区分 年度	身体的虐待		ネグレクト		心理的虐待		性的虐待		非該当		計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
令和3年度	29	2,541	4	714	56	2,637	0	0	13	154	102	6,046
令和2年度	31	1,878	10	720	41	3,136	3	90	8	77	93	5,901
令和元年度	23	1,573	3	242	37	1,991	0	0	13	111	76	3,917
平成30年度	22	1,673	6	1,072	13	583	0	0	9	173	50	3,501
平成29年度	18	1,937	3	1,224	20	572	0	1	3	29	44	3,763

イ 通告者別件数

(単位：件)

区分 年度	関係機関		家族等		近隣等		子ども本人		計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
令和3年度	87	5,380	7	420	7	128	1	118	102	6,046
令和2年度	78	5,545	1	28	13	241	1	87	93	5,901
令和元年度	63	3,546	3	226	10	142	0	3	76	3,917
平成30年度	41	2,748	3	656	6	94	0	3	50	3,501
平成29年度	35	3,326	5	321	3	113	1	3	44	3,763

【相談件数の推移についての状況】

- 相談件数は年々増加傾向にあり、相談種類別件数をみると養護相談件数には児童虐待件数が含まれているため、新規、継続ともに多くなっています。

特に児童虐待件数においては心理的虐待の増加が著しくなっています。これは、夫婦喧嘩等で警察が臨場した際、面前DVいわゆる心理的虐待として書類通告（口頭通告）がなされ、立川児童相談所の判断のもと子ども家庭支援センターで対応するケースが増えたためと考えられます。

- 通告者別件数では、関係機関からの情報提供や通告が圧倒的に多い状況です。特に健康課からは、特定妊婦に関するケースが増加しています。進行管理を毎月行い、連携して対応しております。